取扱説明書 保管用

白熱灯シーリング
（傾斜天井付け可能型）

yamada

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのし方などご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
　　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕　様

品　番	適合電球
PI-2316	E26 普通電球100W以下×4灯
PI-2318	

この取扱説明書のマークについて

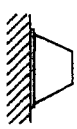
⚠ 警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠ このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け　取り扱い上の注意

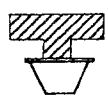
⚠警告

⃠ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

⃠ 次のような場所には取り付けないでください。
★いずれの場合も器具の落下事故による器具、その他の破損やけがの原因となります。


壁　面

45°以上
傾斜した場所


不安定な場所

ケースウェイにセットされている
配線器具

○補強材の無い場所への取り付け
○石膏ボードなど弱い建材面への取り付け
○凸凹のある面には取り付けないでください。
○サウナへの使用　**★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。**

⃠ ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

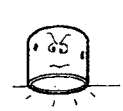
⃠ 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⃠ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⃠ エアコンの吹き出し口の近くに設置しないでください。
★器具がゆれて破損する原因となります。

⚠注意

❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。



❗ AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し火災の原因となることがあります。

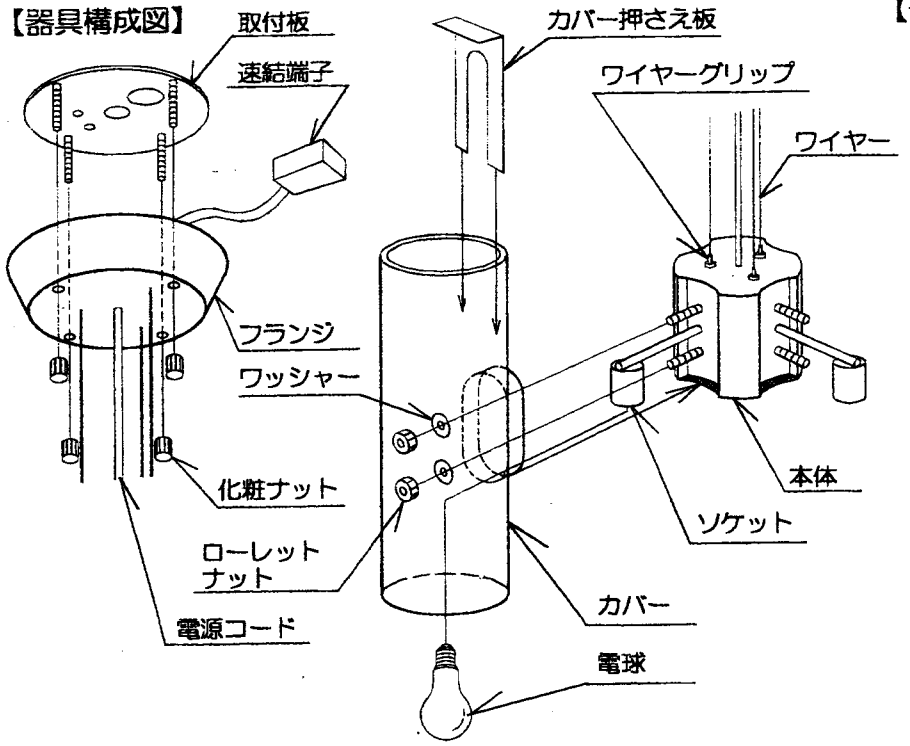
⃠ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。

⃠ ヒビの入ったカバーや、一部が欠けたカバーは使用しないで下さい。
★カバーの破損、落下の原因となります。

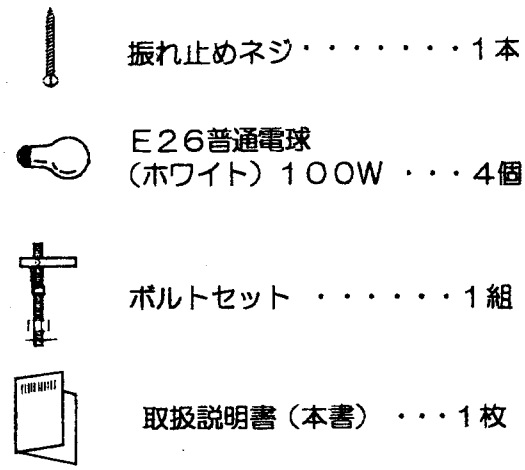
⃠ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

各部の名称 (説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

【器具構成図】



【付属品】

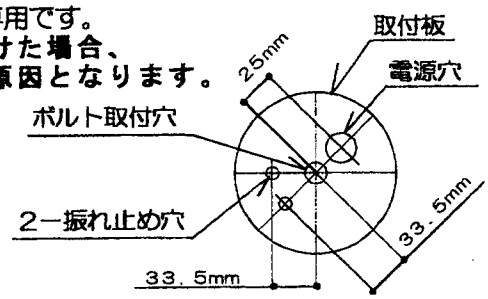


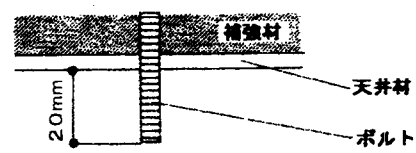
- 振れ止めネジ・・・・・・・・1本
- E26普通電球 (ホワイト) 100W ・・・4個
- ボルトセット ・・・・・・・1組
- 取扱説明書 (本書) ・・・1枚

取り付け場所の確認

⚠ 警告 ❗ この器具はボルト止め専用です。
★木ネジ等で取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

◆ 取付穴位置と電源線位置





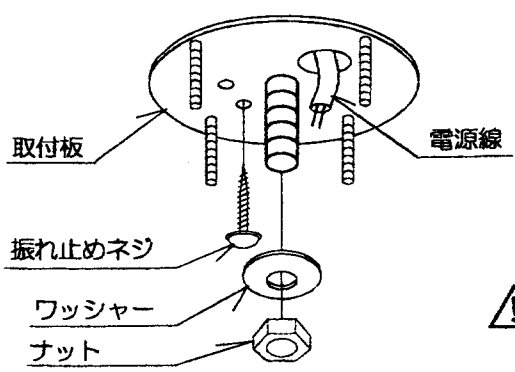
取り付け方 ⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警告 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

⚠ 注意 傾斜した場所に取り付ける場合の注意
取り付け面の傾斜角度は 45° 以下です。
★取り付け角度を誤ると器具落下による事故、その他の破損や、「けが」の原因となります。

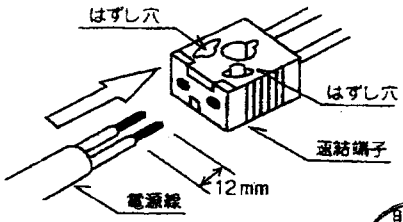
❗ カバーは、ガラス製ですので取り扱いには十分にご注意ください。
★ガラス割れ等の事故や「けが」の原因となります。

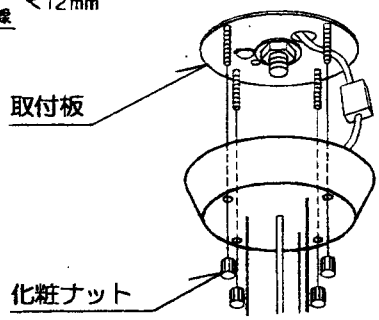
❗ 端子に差し込むケーブルは、必ずVVFΦ1.6またはΦ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲った芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。



1・取付板をセットします。
1. 電源線を取付板の電源穴に通します。
2. 天井に別途施工されているボルトを取付板ボルト用穴に通してワッシャーをはめてから六角ナットで固定します。
付属のボルトセットを使用する場合は
(付属のボルトセット同封の別紙、[吊ボルトセットの使い方]を参照ください。)
3. 付属の木ネジを振れ止め穴にセットして取付板を固定します。

⚠ 注意 ●必ずワッシャーを挟んで固定してください。
●必ず振れ止めネジを取付板にセットして固定してください。
★器具落下事故の原因となります。





2・電源線を接続します。

⚠警告 端子に差し込むケーブルは、必ずＶＶＦΦ1.6またはΦ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。

★指定以外のケーブルや曲った芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。

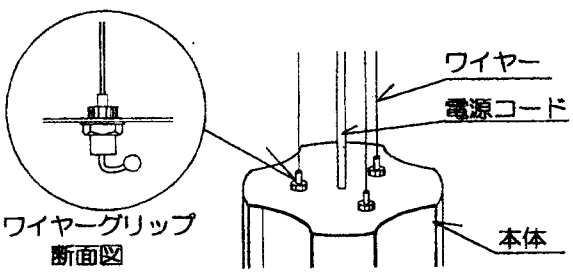
① 電源線を速結端子のゲージ（１２㎜）に合わせて剥きます。
② 電源線を電源線差し込み穴に差し込みます。
※ 電源線をはずす場合は、幅６㎜のマイナスドライバーをはずし穴へ真っ直ぐ差し込むとはずれます。

3・フランジを取付板にかぶせて、化粧ナットで固定します。

4・吊下げ高さを調節します。

ワイヤーグリップを調節して任意の高さに設定します。(出荷時は全長3mにセットされています。)高さ調節は、最大高＝3m(出荷時のもの)～最小高＝2mの範囲内で行ってください。

ワイヤーグリップの調節方法



①本体を持ちながらグリップの先端部を左図矢印方向(下側)に押したままワイヤー線をまっすぐ中に押し込みます。
②長さが決まったらグリップ先端をはなします。(ワイヤー線はそこで固定されます。)
*再度調節するときは、同じ作業を繰り返します。
③同様にほかの長さも調節します。

⚠注意 調節は各ワイヤーにたるみがないように水平に吊り下がるようにしてください。

★どれかがたるんでいると片側に荷重がかかって器具が傾くだけでなく、器具の落下事故の原因となります

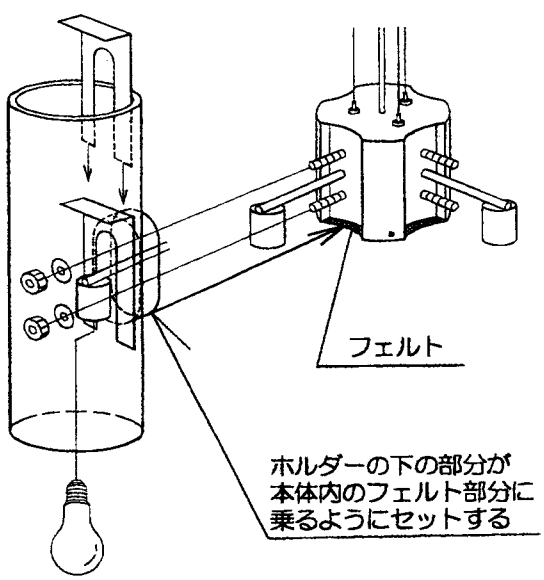
5・電源コードの長さを調節します。

調節したワイヤー線の長さに合わせて電源コードの長さも調節します。(ワイヤー線の調節をされない場合は電源コードの調節をする必要はありません。)
*たるんだ分の電源コードをフランジ内に押し込みます。

⚠注意 電源コードは若干余裕を持った長さ(少したるむ程度)になるように調節してください。

★コードを強く引きすぎると断線による火災や感電事故の原因となります。

6・カバーをセットします。



①ローレットナットをゆるめてセード押さえ板をはずします。
②カバーのホルダーの下の部分が左図のように、本体内のフェルトの部分に必ず乗っているようにセットします。乗っているのを確認しながら、セード押さえ板を上から差し込んでワッシャーとローレットナットで確実に固定してください。

⚠注意 ホルダー下がフェルトに乗っているのを確認してください。

★乗っていないと落下事故の原因となります。

7. 片手でカバーを押さえながら、カバーの下から手を差し入れて電球をセットします。

⚠注意 カバーは、ガラス製ですので取り扱いには十分にご注意ください。

★ガラス割れ等の事故や「けが」の原因となります。

電球は乱暴に取り扱わないでください。

★電球割れ等の事故の原因となります。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ON－OFF」操作を行います。

お手入れについて　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

❗ ●電球の交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

🚫 ●スイッチを切った直後の電球は熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、または
ハンカチやタオル等を使って交換してください。**★火傷の原因となります。**

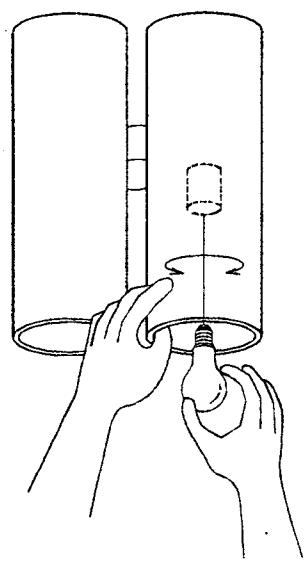
●濡れた手で触らないでください。**★感電事故の原因となります。**

🚫 ●電球は乱暴に扱わないでください。　**★電球が割れてけがをする恐れがあります。**

●適合電球以外の電球は使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると異常加熱による火災の原因となります。

●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

◆電球の交換



⚠注意

🚫 電球交換時、ぬれた手でさわらないでください。
★感電事故の原因となります。

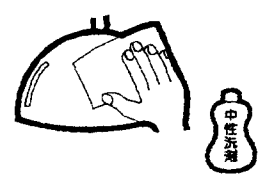
❗ 点灯中や消灯直後のカバーや器具は熱くなって
いますので触らないでください。
★火傷の原因となります。

1. スイッチを切ります。
2. カバーの開口部から手を差し入れて
電球交換を行います。

❗ カバーにヒビが入っていたり、一部が欠けている場合には、
ただちに新しいカバーと交換してください。
★カバーの破損、落下事故の原因となります。

◆お手入れのしかた

①スイッチを切ります。
②柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
③汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
④最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）
故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口に
ご相談ください。